

平成 27 年 3 月 15 日(日)

(第 16 号)

NPO ワンネット FAX 通信

発 信 者 理事長 大内田 治男
F A X 番 号 0942-31-5336

「久留米藩の悲運」

後藤 由紀

昨年秋に久留米郷土史研究会の福島県郡山市・南相馬市の旅に同行しました。明治初期に久留米と縁があった土地の訪問です。私は福岡市唐人町の生まれで、戦時下の空襲疎開をする迄の幼児期を暮しており、黒田藩に係累する方の人間ですが、久留米に住んで 50 年です。筑後地方の歴史を知りたくて郷土史会員になりました。

明治 11 年に久留米藩士 141 戸 585 名が郡山安積原野の開墾に入殖しました。現在は市街地となり郡山市久留米 1～6 丁目となっており、久留米地域公民館と入殖当初に勧請した水天宮と開墾資料館を中心として子孫の方達も大勢おいででした。

士族授産事業として明治政府もオランダ技師を招き猪苗代湖から安積疎水を引いたり、計画的に原野開拓に当たったようですが、実りは困難で、アメリカ出稼ぎに 30 人が出たり、和歌山県の警察官になって仕送りをしたりと艱難辛苦の連続であったようです。

南相馬市の曹洞宗のお寺には久留米藩士の墓が 11 基、並んで祀られていました。幕末の戊辰戦争で久留米から出陣し会津藩と同盟する仙台藩と相馬・駒ヶ嶺で攻防を繰り広げ、11 名の戦死者を出したのです。樹々に囲まれた静かな処で、私達も深く合掌してきました。駒ヶ嶺には 500 名程の出兵だったようで、ここからの帰路に安積原野を目にしていたことが入殖に繋がります。

今年の大河ドラマでは、長州藩の幕末の様子が語られていくでしょうが、この動乱期を久留米藩はうまく梶取りできなかったようです。佐幕派と勤皇派が相争ってお互いに対立派を討ったり斬ったりで、有為な人材を枯渇させました。

明治 4 年には、新政府へのクーデターを図ったとして藩主頼咸が拘禁され、76 名の受刑者を出します(藩難事件)。安積原野に向かったのは、藩難事件の関係者が久留米を脱けて自由な天地を求めたもののようです。

お隣の佐賀藩を見ると、鍋島閑叟(直正)は居眠り名君と邪揄されても動かず、斬るな殺すなはっきり言って社会に役立つ人材を残しました。時代の流れを読むことは困難なこととはいえ、トップの力量の差は大きな影響を及ぼします。4 月の選挙を控え、私達も考えさせられるところです。

よろしくお願いします。平木正史です

平木正史(ひらき まさふみ)と申します。新たにメンバーに参加させていただきました。みなさんのお人柄やご活躍をお手本に、仕事の楽しさを学ばせていただきたいと思います。

北九州市八幡東区に生まれ、久留米で幼少期を過ごしました。父の仕事の都合上転勤が多く、小中高合わせて7回の転校を経験し、新しい環境に順応する能力を持っています。

航空機が好きだった私は、大学の専攻に航空工学科を選び、卒業後は名古屋の会社に就職。航空機三昧の生活を送りました。携わった機種はボーイング 787、777、767、三菱ジェット、MH2000(幻のヘリ)などです。

日本や海外での経験を活かし、言葉の壁や習慣の違いに理解を深め、「聞く力と伝える努力」を惜まず、コミュニケーションを大切にしていきたいと思っています。今年1月1日行政書士になりました。新しい環境が楽しくて仕方がありません。よろしくお願いいたします。

平木行政書士事務所

〒830-0003 久留米市東櫛原町 2062

電話/FAX 0942-65-5599

●市社協、法人後見事業に取り組む

※ふれあい福祉センター運営委員である大内田 治男理事長からの報告です。

同委員会は2月18日開催され、27年度の事業計画が協議されました。

超高齢化社会への突入とともに、成年後見の需要が高まっていますが、それに対応するため平成26年10月1日、久留米市成年後見センターが開設されました。

久留米市では、不足した後見人の担い手として、後見人に必要な知識・技術・社会規範等を備えた「市民後見人」の養成講座を平成24年度より開催しています。私たちワンネット会員の中にも5~6人の受講修了者がいます。

福岡家庭裁判所久留米支部から、成年後見受任の依頼が久留米市社協に来ていますので、ワンネット会員からも受任できるよう働きかけようと思っています。

●前期無料相談会、件数で前年同期を22%上回る

26年度前期の「無料相談」日程を終わり、後援を受けている久留米市と久留米市社協に事業報告書を提出しました。

期間は26年8月から27年1月までの6月間で6回開催。相談件数は101件で1回平均16.8件。前年同期は83件ですから件数で18件、率にして22%増加しました。住民の信頼を得つつあることの表れでしょう。これに対応する相談員の出席も延べ79人(1回平均13.2人の出席)と前年同期の66人(1回平均11人)を大幅に超え、支援体制も充実してきました。

相談内容は、遺言・相続が52件と相変わらず断トツ。次いで離婚 16 件、成年後見 6 件、年金 4 件。そして、その他が 23 件と増えています。その中では「相続税セミナー」開催の影響で税に関する相談が 7 件、また死後事務・終活や行政相談が少しずつ増加傾向にあります。

このために使った経費は 20,070 円。会場会利上げ代とチラシなどの印刷費で、1 回あたり 3,345 円で収まりました。

また、老後いきいきセミナー第 1 回「年金セミナー」の後援者の市、社協に対する事業報告も同時に行いました。

平成 26 年度前期「無料相談会」内容別集計表と前年同期比較

実施日	曜日	相談員数	件数	遺言 相続	離婚	成年 後見	年金	その他	その内容
26 年 8 月 12 日	火	13	15	10	2		1	2	借金問題、事業所の転売
9 月 10 日	水	13	14	7	2		1	4	死後事務、不動産開発許可、債務、 道路障害物
10 月 8 日	水	12	28	12	7	3	2	4	肝炎対応、行政相談、土地手続きの 不備、相続税
11 月 12 日	水	13	15	7	2	1		5	相続税2、生命保険、嫌がらせ、 高齢の母の件
12 月 12 日	水	15	21	12	2	2		5	労働問題、死後事務、相続税3
27 年 1 月 14 日	水	13	8	4	1			3	贈与税、終活、金融機関の対応
合計		79	101	52	16	6	4	23	
25 年度同 期計合計		66	83	44	19	3	2	15	

●3月の「無料相談会」報告

3月の相談会は3月11日(水)市民活動サポートセンターで開催。村上公証人と15人のワンネット会員が対応しました。相談件数は8件。内容は遺言・相続4件、成年後見1件、離婚1件、その他2件(相続税2)でした。参加会員は、鹿子生、平木、中村妙、橋口、熊谷、神野、松枝、日野、大内田、執行、古賀信、後藤、古賀隆、田中、栗林(敬称略)。

次回は、4月8日(水)10:30~15:00 市民活動サポートセンターで。会員のみなさんのご参加をお願いします。

●寄付の報告

ワンネットに対する寄付について報告します。無料相談会を基に仕事を受託したり、見守り・委任事務などで、そのおおむね1割を自発的に寄付した場合などです。本年度初めの8月から、これまでにいただいた寄付を報告します。ありがとうございました。(敬称略)

受取日時	氏名	金額	内訳
26年8月12日	鹿子生盈代、橋口紀代子	1,000円	見守り事務
8月12日	田中貴教	21,000	委任事務
11月12日	鹿子生盈代	10,000	委任事務
27年1月11日	古賀信夫	4,800	相続登録支援
2月10日	古賀隆広	10,000	委任事務

●会費未納者に納入依頼

26年度会費納入について、3月4日現在5人の未納者がおられます。については、改めて納入依頼をしました。年度末のお忙しい時期ですが、早期納入をお願いします。

●内部研修の報告

報告者 栗林 武敏

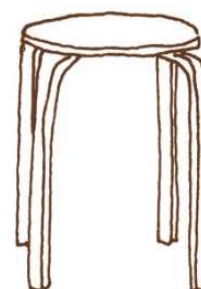
ワンネットの内部研修会が3月7日(土)15時～17時、市民活動サポートセンターで開かれ、12人が参加しました。

ワンネットの無料相談会は年を経るごとに相談者が増加しています。それは、相談を受ける会員のみなさんがしっかりと受け止め、対処しているからです。2人体制で受ける、受付体制の強化など組織での積極的な改善も行っています。それでも、市民相談は複雑・多様化する一方。

そこで今回、ワンネットは「相談」をテーマに内部研修を行いました。栗林が講師役に選ばれ、「カウンセリングの基本」と本格的な研修を試みました。しかし、話をしながら感じたことは「うまくいっていないようだ」でした。終わって、みなさんに意見を聞いてみると、ある会員から「大事なことだとは分かっているが、難しすぎた」という発言がありました。

講師を受けた私としてみれば、「残念、この上なし」。

ですが、「本格的な“相談の基本”をテーマにした研修は必要ではないのか」「必要であるとすれば、どこに問題があるか」など、これから冷静に点検し、みなさんのご意見を聞いて、再提案を図っていく気持ちであります。その節はよろしくをお願いします。



「FAX通信」に対するご意見、ご要望をお待ちしております。